

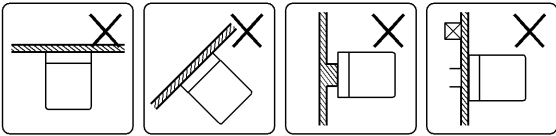
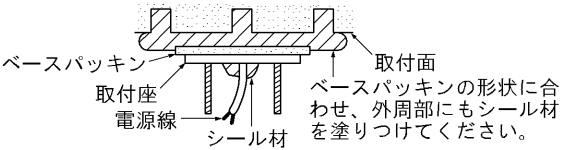
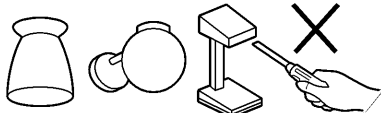

品番	LEDB87950YL(K)-LSX・LEDB87950YL(S)-LSX
----	---------------------------------------

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

## 安全上のご注意

<p><b>警告</b> 取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。</p>	
<p><b>！ 厳守</b></p> <p>この器具は壁面取付専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。</p>  <p>天井 傾斜壁面 不安定な場所 パッキンより小さい取付面</p>	<p><b>禁止</b></p> <p>器具取付面は、ベースパッキンの大きさ以上の平らな面に仕上げてください。火災・感電・故障の原因となります。</p>  <p>ベースパッキン 取付面 取付座 電源線 シール材 ベースパッキンの形状に合わせ、外周部にもシール材を塗りつけてください。</p>
<p><b>！ 厳守</b></p> <p>この器具は耐塩仕様ではありません。塩害地域には取付けないでください。早期に錆・腐食などが生じ、火災・感電・落下の原因となります。</p>	<p><b>分解禁止</b></p> <p>器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下の原因となります。</p> 
<p><b>！ 厳守</b></p> <p>器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。</p>	<p><b>！ 厳守</b></p> <p>電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとLED寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。</p>
<p><b>アース工事</b></p> <p>アース工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。</p>	<p><b>！ 厳守</b></p> <p>煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「照明ご相談センター」にご相談ください。</p> 
<p><b>禁止</b></p> <p>火気等の近くでは、使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。</p>	
<p><b>禁止</b></p> <p>器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。</p>	

## 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

<p><b>！ 厳守</b></p> <p>電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。</p>	<p>●照明器具には寿命があります。</p> <p>●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。</p> <p>●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。</p> <p>●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。</p> <p>●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。</p>
<p><b>！ 注意</b></p>	

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

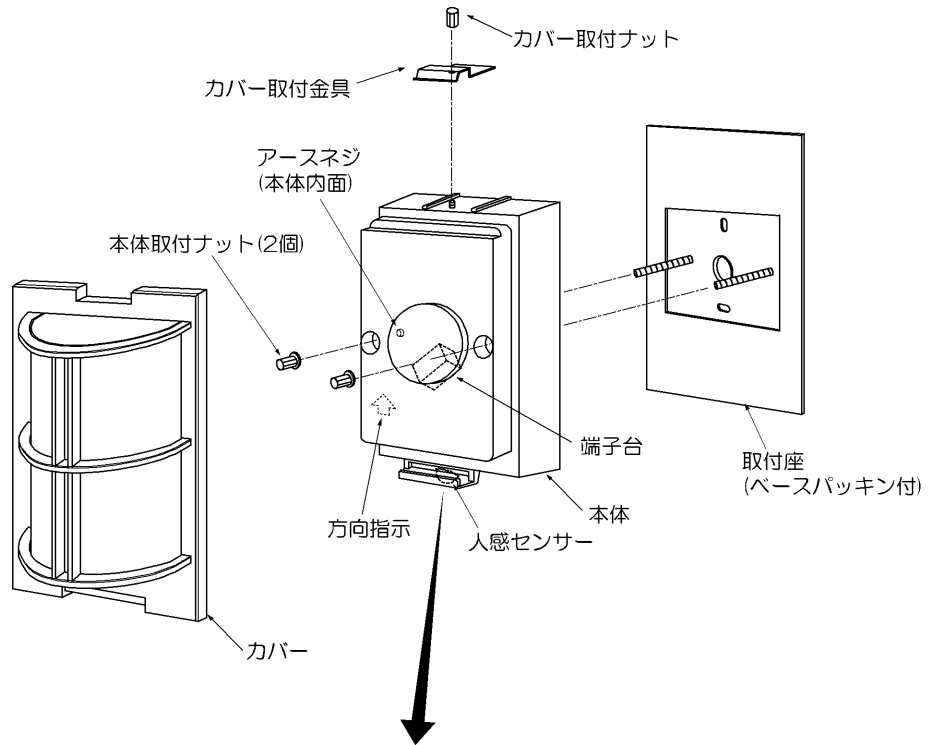
## 仕様

- 屋外壁面取付専用器具です。
- 器具にはアクリルを使用しております。取扱いは丁寧に行ってください。
- 防雨形器具です。
- 木ネジ(2本)取付専用器具です。
- マルチタイプ人感センサー付です。
- 調光器との併用はできません。
- LEDユニットは交換できません。
- 絶縁台別売。(DP-30916)

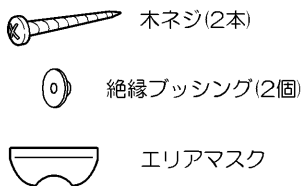
品番	LEDB87950YL(K)-LSX・LEDB87950YL(S)-LSX	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz兼用	
消費電力	8W	
入力電流	0.2A	
LEDユニット	演色性 Ra85 電球色(2700K) (7灯)	
	LEDモジュール寿命(h): 40,000	
器具重量	約 1.4kg	
電源接続	端子台	

## 各部の名称

※下図は、簡略した図です。

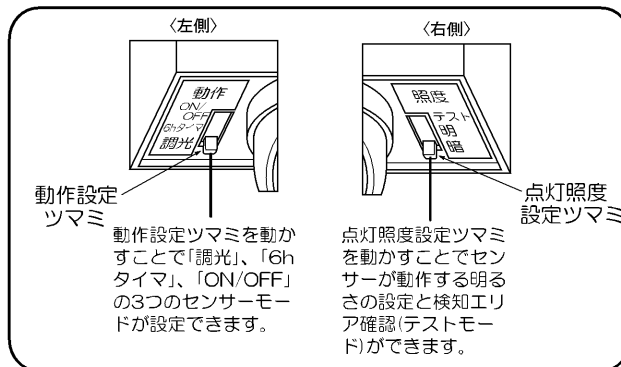
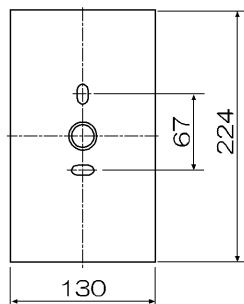


### 付属部品



### 取付寸法

単位：mm



### 警告

この器具は防雨形器具です。湿気が多い場所や浴室・サウナで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

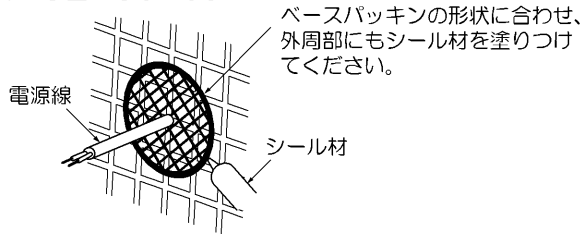
## 施工説明

### ① 取付け前の注意事項について

- ベースパッキンが密着する平らな面に取付けてください。

#### ⚠ 警告

凹凸のある取付面の場合は、シール材でベースパッキンより大き目の平らな面に仕上げてください。凹凸面にそのまま取付けると、防水性能が損われ火災・感電・故障の原因となります。



#### ⚠ 警告

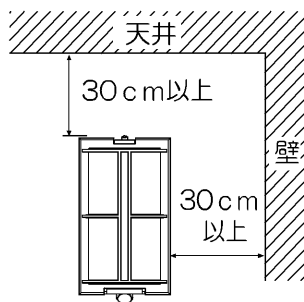


厳守

壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。

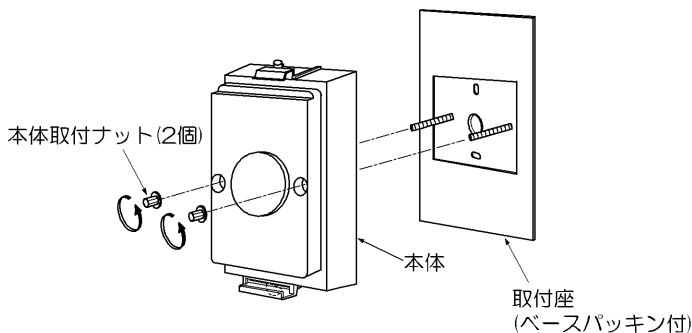
### ② 施工前に確認する

- 施工の際、天井面、壁面から器具を30cm以上離して取付けてください。器具が天井面、壁面に近いとランプが点滅を繰り返す恐れがあります。



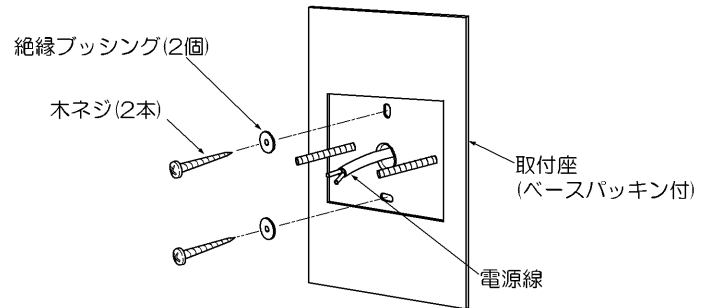
### ③ 取付座を外す

- 本体取付ナット(2個)をゆるめて、本体から取付座(ベースパッキン付)を取外してください。



### ④ 取付座を取付ける

- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分ですと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 取付座(ベースパッキン付)の電源穴に電源線とアース線を通し、付属の絶縁ブッシング(2個)と木ネジ(2本)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



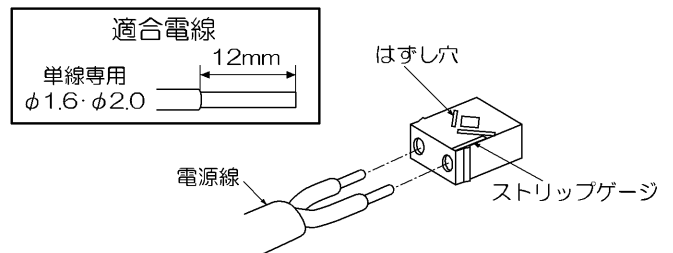
#### ⚠ 警告

取付部、補強材へのねじ込み寸法が、20mm以下の場合、落下の原因となります。

既に使用されたネジ穴の再利用はしないでください。落下の原因となります。

### ⑤ 電源を接続する

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。
- 端子台に奥まで確実に差し込んでください。
- アースネジを使用して、必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。



#### ⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

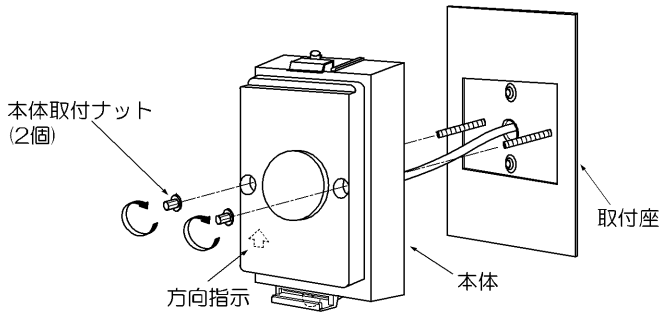
#### <電源線を取外す場合>

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- マイナスドライバー等をはずし穴に差し込み、電源線を引き抜いてください。

## 施工説明

### ⑥ 本体を取付ける

- 本体の方向指示に従って、本体を取付座にセットし、本体取付ナット(2個)で確実に締め付け固定してください。

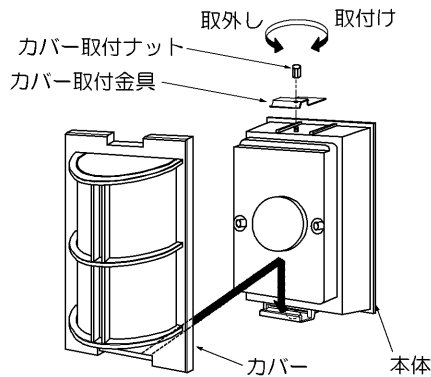


#### ⚠ 警告

取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下・絶縁不良・漏電の原因となります。

### ⑦ カバーを取付ける

- カバーにひび・割れ・欠け等の異常がないか確認のうえ作業してください。
- 本体からカバー取付ナット、カバー取付金具を取外してください。
- カバーを本体の下部に引っ掛けてセットし、カバー取付金具とカバー取付ナットで確実に締め付け固定してください。



#### ⚠ 警告

取付けが不完全な場合、防水機能が損なわれ、落下・絶縁不良・漏電の原因となります。

### ⑧ 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。

(動作確認方法)

- ① ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

#### ⚠ 警告



厳守

壁スイッチは常にON状態でご使用ください。誤動作の原因となります。

- ② 1) 電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。  
2) その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約5秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。  
3) テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。  
※出荷時のスイッチ設定は動作設定つまみが「調光」、点灯照度設定つまみが「暗」となっています。

(動作設定つまみ、点灯照度設定つまみについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

## ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると6hタイマーモードの時は、6時間の弱点灯の後、消灯状態になります。調光モードの時は、弱点灯状態になります。ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。
	2. 人を検知すると点灯状態になります。
	3. 約60秒間点灯した後、6hタイマーモード・ON/OFFモードは消灯状態となり、調光モードは弱点灯モードに戻ります。
	4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

- 強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)
- 検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。
- ※人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

## LEDについて

- LEDユニットは交換できません。
- LEDにはバラツキがあるため、商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 設置してから約8～10年、LEDは寿命が来ても暗くなりますが点灯し続けます。外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。器具を点検のうえ、交換してください。
- LED器具の近くでほかの光高周波方式リモコン器具を使用しないでください。誤動作の原因となります。
- LED器具の近くで室内アンテナ使用のテレビやラジオを使用した場合、画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- LEDを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

## ご使用上のご注意

- 室内スイッチ、ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
- 掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
- 検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じて反応するもので、故障ではありません。)
- 季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
- 人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまったりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- 点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生しますが、異常ではありません。
- 故障と思われる時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていませんか？

- センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

### 保証について

- ・保証期間は、**商品お買い上げ日より1年間です**。但し、LED器具の点灯装置、蛍光灯器具・HID器具の安定器(インバータバラスト含む)については3年間です。
- ・セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

### 保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
  - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
  - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
  - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障および損傷
  - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
  - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
  - (7) 日本国内以外での使用による故障および損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

### 修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

### 東芝ライテック照明ご相談センター

**0120-66-1048** (通話料：無料)

受付時間：365日 9：00～20：00

携帯電話・PHSなど 046-862-2772(通話料：有料)

FAX 0570-000-661(通信料：有料)

お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用  
Use only in Japan

東芝ライテック株式会社 住宅照明部 〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

TEL(044)331-7553  
FAX(044)548-9604

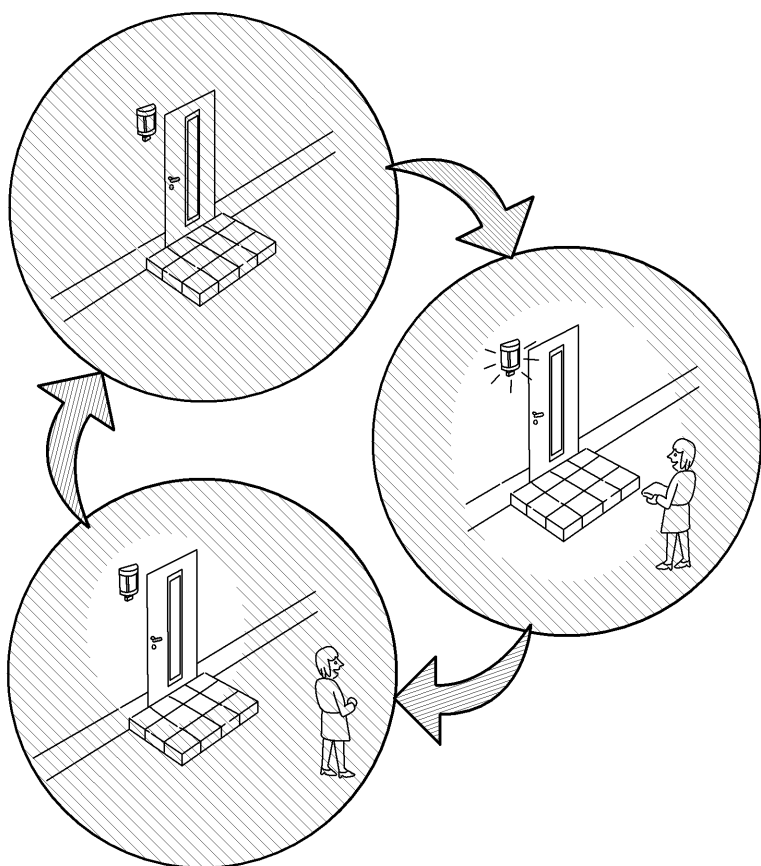
**お客様へ**

- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 照明器具の取付工事は必ず工事店・電気店(有資格者)に依頼してください。

**工事店様へ**

- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 人感センサー付照明器具の特徴



### 人感センサー

#### 人を検知してランプが自動点灯

- 人がいなくなると約1分後に消灯します。
- センサーの検知範囲は状況に合わせて調整できます。

### 強制ON

#### いつでもランプを点灯できる

- 人感センサーを解除していつでもランプを点灯させることができます。
- 家の中から玄関先の様子を見るときなどに便利です。

### ソフトスタート

#### ランプはゆっくり明るくなる

- 約2秒で100%点灯状態になります。
- 徐々に明るくなるので、まぶしさに目がくらむことはありません。

### フェードアウト

#### ランプはゆっくり暗くなる

- 約2秒でゆっくり暗くなります。
- 人の動きがないときでも突然消えないので安心です。(少し動けばまた明るくなります)

### もくじ

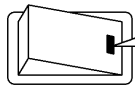
- センサー各部の名称 ..... 2
- 人感センサーの働きを決める ..... 2
- [1] 壁スイッチを「ON」にする ..... 2
- [2] 人感センサーの検知範囲を調整する ..... 3
- [3] 人感センサーの検知範囲を確認する (テストモード) ..... 4
- [4] ランプを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める (点灯照度設定) ..... 4
- [5] 暗くなったときの照らしかたを決める (動作設定) ..... 5
- ランプを今すぐ点灯させたいとき (強制ON)モード ..... 6
- 修理を依頼される前に ..... 7

注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。  
必ず感知エリアを確認してください。  
(P.2を参照してください。)

## エリアマスク 貼り付け位置

この説明書は必ずお客様にお渡しください

## ご使用のときは

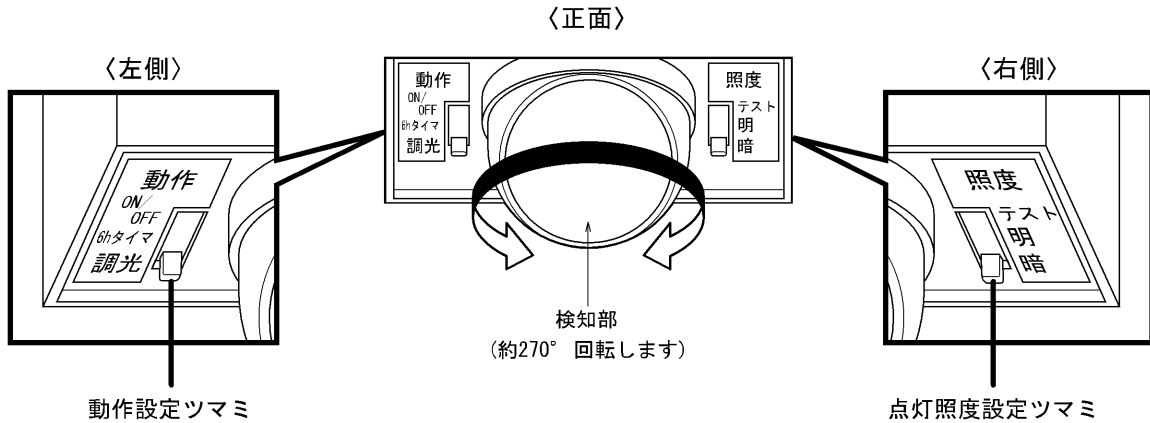


ON

壁スイッチ (=電源) は「ON」状態でご使用ください。

●「OFF」状態では人感センサーは動きません。

## センサー各部の名称



<付属品>

エリアマスクA

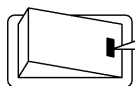


エリアマスクB



## 人感センサーの働きを決める

### 1 壁スイッチを「ON」にする



ON



約30秒間  
ランプが点灯

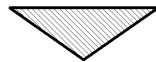


下記 **2** **3** **4** **5** の設定に従って  
人感センサーが働きます。

※壁スイッチは「ON」の状態でご使用ください。

※この取扱説明書では、壁スイッチ「ON」の状態の説明をしています。

### 2 人感センサーの検知範囲を調整する…………… P. 3



### 3 人感センサーの検知範囲を確認する……………(テストモード) P. 4



### 4 ランプを自動的に点灯/消灯させる周囲の明るさを決める……………(点灯照度設定) P. 4



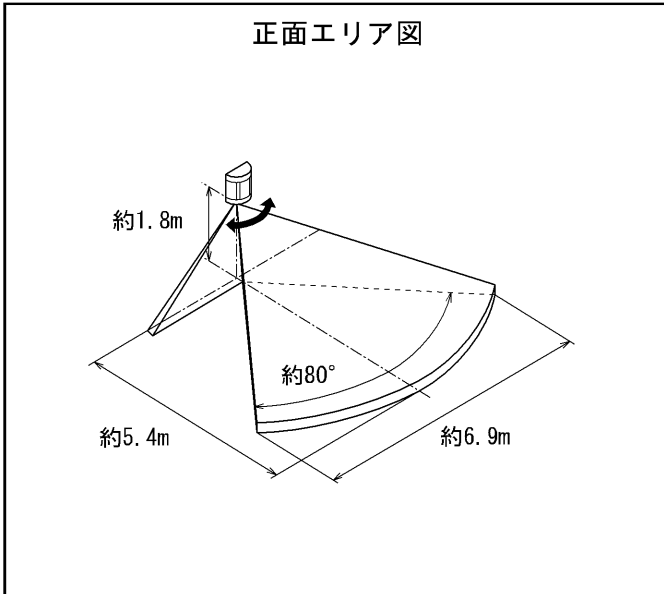
### 5 暗くなったときの照らしかたを決める……………(動作設定) P. 5



## 2 人感センサーの検知範囲を調整する

- センサーの検知部を動かすことで、検知範囲を調整することができます。
- 下図の説明を参考に調整し、次のページの「テストモード」で検知範囲を確認してください。
- 検知範囲を調整しても、ひんぱんにセンサーが反応してしまうときは、エアーマスクをご利用ください。  
(下記「エアーマスクの利用」参照)

### 人感センサーの検知範囲

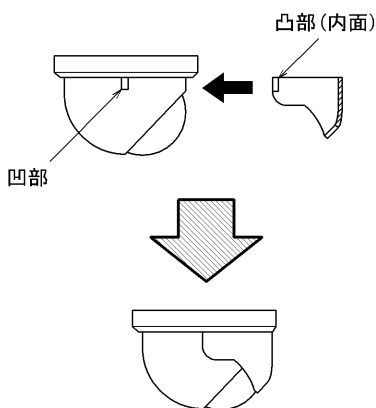


### ひんぱんにセンサーが反応してしまうとき エアーマスクの利用

- 検知範囲の近くに人や車が通る道があると、必要のないときまでランプが点灯する場合があります。  
a そのときはセンサーの検知部に「エアーマスク」を取り付け、検知範囲を調整してください。

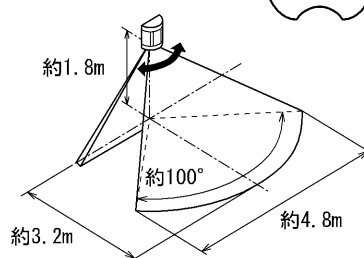
#### エアーマスクの取付方法

エアーマスクの凸部を、検知部側面の凹部にはめ込む



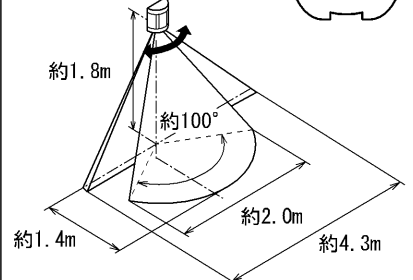
#### センサーの検知範囲

検知部を正面にし、「エアーマスクA」を取付けた時



エアーマスクA

検知部を正面にし、「エアーマスクB」を取付けた時



エアーマスクB

### 3 人感センサーの検知範囲を確認する **テストモード**

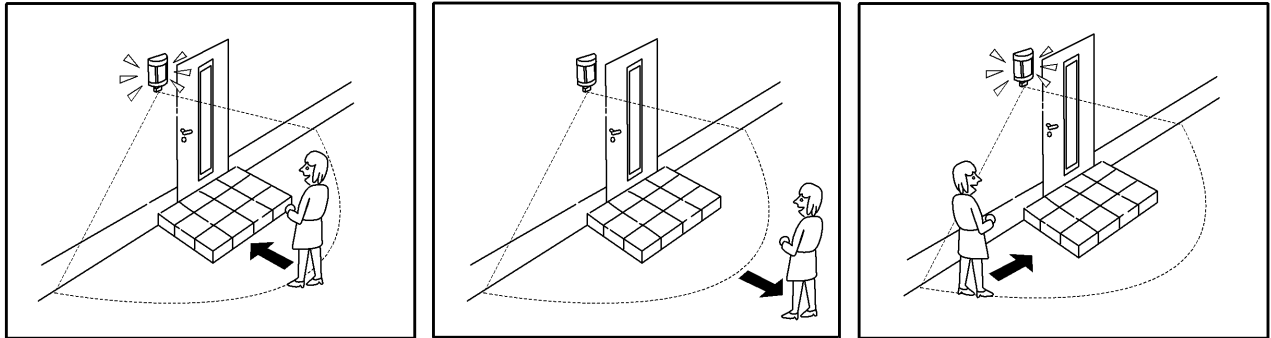
テストモードにすると、昼間・夜間に関係なく検知範囲に入るとランプが約5秒間点灯し、その後消灯します。

Q センサー右側の点灯照度設定つまみを「テスト」に合わせる。



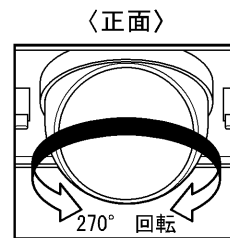
W 検知範囲に入ったり、出たりしながらランプの点灯／消灯を確認する。

●検知範囲に関して **P. 3参照**



e 必要に応じて検知部を動かして検知範囲を調整する。

●手順2 と3 を繰り返して調整してください。



r 点灯照度設定つまみを「暗」または「明」に設定する。 **下記参照**

### 4 ランプを自動的に点灯／消灯させる周囲の明るさを決める **点灯照度設定**

周囲の明るさによってランプを自動的に点灯させたり消灯させたりする条件を設定できます。

●周囲が少し明るくても点灯させたいときは「明」に、暗くなってから点灯させたいときは「暗」に設定します。

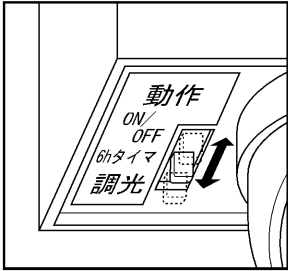
Q センサー右側の点灯照度設定つまみを「暗」または「明」に合わせる。

設定		周囲の明るさ		ランプ
	暗 のとき	夜、暗くなったら(約15ルクス以下)	➡	点灯
		早朝、少し明るくなったら	➡	消灯
	明 のとき	夕方少し暗くなったら(約45ルクス以下)	➡	点灯
		朝、明るくなったら	➡	消灯

## 5 暗くなったときの照らしかたを決める **動作設定**

照らしかたは3つのモード「調光」「6hタイマ」「ON/OFF」の中から1つ選ぶことができます。

- 【ほのかな明かりで照らす】+【人が来たら明るく照らす】 a 「調光」モードに設定
- 【ほのかな明かりで照らす(真夜中は消灯)】+【人が来たら明るく照らす】 a 「6hタイマ」モードに設定
- 【消灯】+【人が来たら明るく照らす】 a 「ON/OFF」モードに設定



センサー左側の動作設定ツマミで  
お好みのモードを選ぶ

条件 動作設定	昼(明るいとき)		夜(暗いとき)	
	人がいるとき/いないとき		人が来たとき	人がいなくなったとき
<b>調光</b> モード  (夜間は消灯なし) で安心	 消灯	 ほんのり点灯状態	 100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態 に戻る
<b>6hタイマ</b> モード  (真夜中は消灯) させて節電	 消灯	 ほんのり点灯状態	 100%点灯状態	 約1分でほんのり点灯状態 に戻る
ほんのり点灯をはじめてから 約6時間経過後(真夜中)				
<b>ON/OFF</b> モード  (必要なとき だけ点灯)	 消灯	 消灯	 100%点灯状態	 約1分で消灯

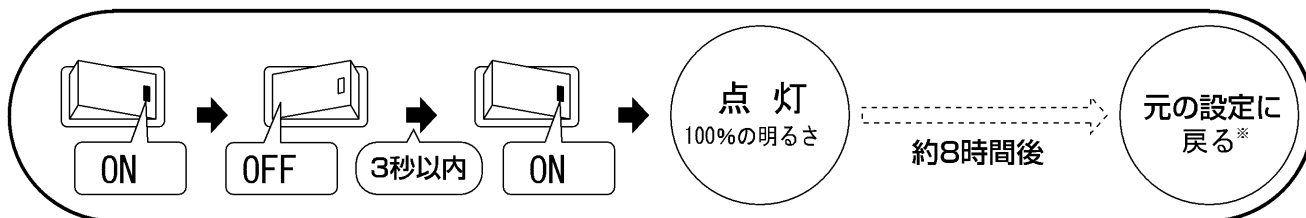
## ランプを今すぐ点灯させたいとき 「強制ON」モード

人の有無や周囲の明るさに関係なく、ランプを強制的に点灯させることができます。

### ランプを強制的に点灯させるとき (「強制ON」モードで使用する時)

Q 壁スイッチを「ON」にする。(すでに「ON」の場合はそのまま)

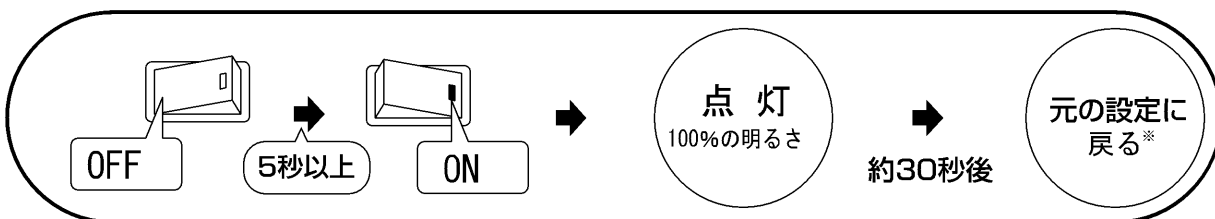
W 壁スイッチを「OFF」にし、3秒以内に「ON」にする。



### 元の設定に戻すとき (使用していた設定状態にすぐに戻したいとき)

Q 壁スイッチを「OFF」にしてから5秒以上待つ。

W 壁スイッチを「ON」にする。



※ 元の設定に戻ったとき、設定内容や周囲の明るさなどにより、ランプの点灯状態が異なります。  
(設定内容により異なる)

## 修理を依頼される前に

- センサーの働きがおかしいときは下記を参考に点検を行ってください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず壁スイッチを「OFF」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法
ランプが消灯しない	壁スイッチを「OFF」にして約3秒以内に「ON」にした。	「強制ON」モードになっています。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P. 6参照)
	明け方 センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「明」になっている。	朝、明るくなるまでセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「暗」にしてください。(P. 4参照)
	明るいとき 照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗いときがある) 昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。 センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	「6hタイマ」モードでご使用の場合、昼間でも周囲が薄暗いときは、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプをほんのり点灯(約6時間継続)させることがあります。壁スイッチを「OFF」にして5秒以上経過後「ON」にしてください。(P. 6参照)
	夕方 センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「暗」になっている。	暗くなりはじめたらセンサーが働く設定になっています。「点灯照度設定」のツマミを「明」にしてください。(P. 4参照)
検知範囲に人がいるのに点灯しない	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(適合ランプは「照明器具の取扱説明書」または「照明器具に貼付のランプシール」参照)
	ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(「照明器具の取扱説明書」参照)
	壁スイッチが「OFF」になっている。	壁スイッチを「ON」にする。
	暗いとき センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。 センサー検知部のレンズが汚れている。	1. センサーの検知部に当たる光を遮断してください。 2. 検知範囲内の照明器具を取り除いてください。 センサー検知部のレンズの汚れを柔らかい布で拭き取ってください。

現象	考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	壁スイッチを「ON」にした直後。 または、停電から復帰直後。	壁スイッチを「ON」にしたときは、約30秒間100%点灯状態になります。
	暗いとき 検知範囲内に人以外の熱源がある。 <例> ・自動車の熱やヘッドライト ・近くの道路の通行人 ・犬や猫などの動物 ・風などでよく揺れるもの (洗濯物、旗、植木など) ・他の照明器具 ・エアコンなどの吹出口からの風 ・強いノイズ(無線ノイズなど)	1. 検知範囲を調整する。 (P.3参照) 2. 熱源を取り除く。 検知範囲内に左記の例のようなものがある場合、周囲の温度変化を検知し、センサーが働くことがあります。
検知範囲に人がいるのに消灯する	センサー右側の「点灯照度設定」のツマミが「テスト」になっている。 (約5秒間点灯後、消灯)	「点灯照度設定」のツマミを「明」または「暗」にしてください。 (P.4参照)
	暗いとき 検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなる場合があります。
	マフラーで顔を覆ったり手袋をしたりして肌の露出部分が少ない。	
	夏の暑い日など周囲温度と人との温度差が少ない。	
	器具(センサー)に向かって正面から近づいている。	センサーの特性上、正面から近づくと検知しにくい場合があります。 センサーの検知部を少し左または右に向けてください。

## クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。



**直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。**